

## 今号の主な内容

### 【特集】水原市青少年育成財団の由布市訪問

#### がんばっています!

- 間伐材を活用した“森からのおくりもの”を製作しています…2
- 木工教室 谷小学校で「マイ箸づくり」……………2
- 木工教室 由布院小学校で「ペン立てづくり」……………3

#### ゆふいんtopic

- 「第24回ゆふいんこども映画祭」……………4

【発行日】2013年2月2日

【発行】公益財団法人人材育成ゆふいん財団

【発行人】溝口薫平

【編集責任者】霜野圭一

【編集】人材育成ゆふいん財団企画委員会

住所/湯布院町川上2863

TEL/85-4748 FAX/85-4759

E-mail : info@yufuin-zaidan.jp

H.P : http://www.yufuin-zaidan.jp

## 【特集】<sup>スウォン</sup>水原市青少年育成財団の交流団の由布市訪問／相互交流

ゆふいん財団では、平成13年度より、次世代を担う子どもたちが国際感覚を身につけ、幅広く地域のために活躍していくことを期待して、国際交流事業を推進してきました。そして、昨年度からは韓国・水原市青少年育成財団との国境を越えた民間レベルの交流、お互いの地域を往来する相互交流がスタートし、また新しいステージへと移りました。

その相互交流の初めの一歩として、昨年2月に韓国・水原市から交流団の訪問がありました（平成24年2月24～27日）。水原市青少年育成財団から中高生6名を选拔していただき（引率者1名、計7名）、3泊4日でホームステイや湯布院の子どもたちと一緒に県内各施設を訪問、共同作業のお菓子づくりなどをして、交流を深め

ました。

今年度8月には、今度は湯布院の子どもたちが水原市を訪れました（財団ニュースVol.72参照）。そして再び、今年2月22（金）～25日（月）の日程で、水原市青少年育成財団の交流団が湯布院を訪れます。ホームステイや大分県・由布市・湯布院町の視察、木工体験などを通して交流を深めたいと思います。その様子はホームページでご紹介していきたいと思います。

国際感覚を持ち、言語や文化が異なる子どもたちとも物怖じすることなく、交流できる子どもたちを育成していくことを目的に、今後もこうした子ども交流使節団を派遣、そして受入を行っていききたいと思います。

カチッ! 🔍 検索 ゆふいん財団

### 水原市青少年育成財団・交流団 初訪問の様子（平成24年2月24日～2月27日）



歓迎会



湯平温泉の散策



共同作業 蒸しまんじゅうづくり



A P U ・立命館アジア太平洋大学訪問



高崎山訪問



辻馬車乗車・ゆふいん散策

**がんばって  
います!**

## 公益目的事業1-③人材育成活性化のための調査研究事業(起業家支援事業) くぬぎの学校・里山資源の商品開発に取り組むスタッフが 間伐材を活用した“森からのおくりもの”を製作しています

"木もいいですよ"と語りかけてくれるヒトを見守りたい。そうした想いから、ゆふいん財団では木工芸の職人を育成する"くぬぎの学校"を運営しています。里山資源を活かした木工芸の若手の職人を育成し、その夢を応援しています。

研修職人の豊田豪史さんが、大分県の森林環境税を活用して、"森からのメッセージ・森からのおくりもの"と題し

て、箸置き製作・プレゼントを企画しました。製作する予定のプレゼント1,000個の内、早速500個を今年の元旦にゆふいんの森号で配布しました。あと残り500個の卒業制作に、現在必死に取り組んでいます。今回はその豊田豪史さんが、間伐材についての想いをつづったメッセージと箸置き卒業制作について特集します。

### "間伐材" についてのメッセージ

植林される苗木は小さくてまだまだ弱い。だから互いが支えあうようにたくさん植えます。少し育つとそれぞれが大きくなり育つにはちょっときゅうくつになります。なので、いくらか切って木と木の間隔を空けます。これを「間伐」といいます。切られた木は「間伐材」と呼ばれます。間伐することで森にやさしい光が入り、土が豊かになります。そうすると木は枝を広げ強く大きく育ちます

大きく育った木は立派な材木となって私たちの役に立ちます。間伐された木は細く、山から運び出す手間を考えると、そのまま山に放置され土に返すことも多いのです。しかし、「間伐された木を大切な資源にできる」と感じ、間伐材を"箸置"という"森からのメッセージ"にしました。「美しい山々、自然の大切さを知ってもらいたい」という想いを込めた"杉の箸置き"です。



くぬぎの学校  
豊田豪史



### 1年間のくぬぎの学校での活動と卒業制作について

くぬぎの学校での一年を振り返り、たくさんの事を勉強、経験ができました。インターン研修では、時松辰夫・当財団理事の指導のもと作り手としての心構え、技術を学び、経験する事ができました。そして湯布院での多くの行事、イベントのお手伝いにも参加する事ができ、街の人たちのあたたかさや、おもてなしの心を学び感じる事ができました。

卒業制作の箸置は、現在残りの500個を心を込めて製作しています。多くの方に今の森、山の現状を知ってもらい、少しでも木、自然の事を感じてもらえたらと思っています。



**がんばっています!**

## くぬぎの学校・木工教室 谷小学校で「マイ箸づくり」

2月14日(木) 由布市挾間町の谷小学校の小学6年生12名を対象に、国産広葉樹を使用した『マイ箸』を製作する木工教室を開催しました。森林の働きを学び、木工体験をすることで、木の温もりに触れ、もの作りの楽しさを

学んでもらいました。今回はくぬぎの学校の外部講師としていつもお世話になっている箸屋一膳の西原慎一郎さんに協力を頂き、子どもたちにマイ箸づくりを体験してもらいました。担当の先生も参加し、とても楽しい時間でした。



教室で日本の山、森林について講師の芦原さんのお話を聞きました。子どもたちは真剣に話を聞いていました。



マイ箸づくり開始!  
「先生よりカッコいい箸を作るぞー!」と意気込む子どもたち。



材料はサクラを使いました。最初は慣れない刃物にみんな少し苦戦。苦手な子もヤスリで形を作ります。



それぞれ思い思いの箸をつくるのに真剣になって削っていました。



少し休憩しながら削りました。「他の班はどんな箸を作っているの？」



最後の仕上げまで、細かくこだわりを持つ子どもたち！細かいヤスリでツルツルに仕上げます！



小学校卒業制作の思い出を箸に焼き入れました。えんぴつで下書きをして上手にペン入れをします。



完成！みんな短い時間でうまくマイ箸を作ることができました。

**がんばっています！**

くぬぎの学校・木工教室

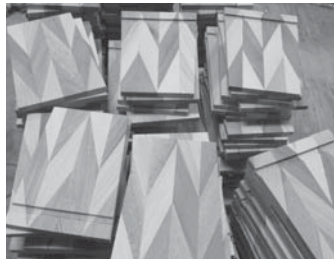
## 由布院小学校で「ペン立てづくり」

2月15日（金）由布院小学校の小学4年生61名を対象に、国産広葉樹を使用した『ペン立て』を製作する木工教室を開催しました。今回は由布院小学校の「1/2成人式」行事の一環として、キャリア教育・総合学習の授業で、木工職人の仕事についてお話をしました。その後、『ペン

立て』を製作し、木工のものづくりを実際に体験しました。子どもたちは最初むずかしそうにしていたのですが、形が完成に近づいてくると楽しそうに制作に取り組んでいました。実際の道具や映像で仕事の様子を見ることで、しっかり学び、木の良さを感じることができたと思います。



プロジェクターを使い写真や映像を見ながら山のしくみや森の働きのお話を聞きました。みんな真剣に聞いて、しっかりとメモをしていました。



次は木のお仕事の話です。大工、家具、木工芸など、各職人の違いやそれぞれの特徴を聞きました。



ペン立てを実際に作る前に映像を見ながら作り方を教えてもらいました。



まずはボンドで板をつける作業から！  
「なかなかうまく塗れないなあ・・・」



ボンドをつけたら板を組み立て、底にも板をはめ込みました。  
「簡単だと思ったのに、意外と難しいなあ・・・」



輪ゴムを使って板を固定。はみ出たボンドを布で拭き取りました。



今日は時間が限られているので、ボンドを早く乾燥させるため、電子レンジを使いました。



仕上げは紙ヤスリを使って角をなめらかに仕上げます。



最後はオイルを塗り完成です。  
「色がきれいになった！」



完成後は質問の受け答えをしながら、木の事について学ぶことができました。

# ゆふいんTOPIC 「第24回ゆふいんこども映画祭」 / 3月2日(土)開催



第64回アカデミー賞  
撮影賞・美術賞・音響編集賞・音響調整賞・視覚効果賞  
第84回ゴールデングローブ賞(監督賞)  
第2012年キネマ旬報ベスト・テン第3位  
『ヒューゴの不思議な発明』  
2013. 3. 2

「世界がひとつの大  
きな機械なら、いら  
ない部品なんてひと  
つもないんだ」

## ゆふいんこども映画祭

# 第24回

由布市湯布院公民館



第64回カンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞  
五つ星ミューズスペシャル・メンション  
パルム・ドッグ審査員特別賞  
第2011年シカゴ国際映画祭グランプリ  
第2011年イ・アリュック賞作品賞  
第2012年キネマ旬報ベスト・テン第4位  
『ル・アーヴルの靴みがき』

「泣いたか？」  
「ううん」  
「泣くだけ損だ」

「第24回ゆふいんこども映画祭」(主催:由布市教育委員会・ゆふいんこども映画祭実行委員会)が3月2日(土)に開催されます。「こどももおとなも楽しめる映画祭」。今回のゆふいんこども映画祭では、故岡本忠成監督の短編アニメーションなど、小さなお子さんでも、大人でも十分に楽しめる作品がそろっています。思わず映像に釘づけになる作品が数々上映されます。たくさんのご来場をお待ちしております!

### <上映作品スケジュール>

3月2日(土)	午前	10:00~	「小さな五つのお話」
		10:20~	「ちからばし」
		10:45~	「おこんじょうり」
		11:15~	「パンダコパンダ」
午後	13:00~	「ルパン三世 カリオストロの城」	
	14:55~	「ヒューゴの不思議な発明」	
夜	19:00~	「ル・アーヴルの靴みがき」	

### ■チケット料金

こどもフリーパス券(市内小・中学生)	500円
おとなフリーパス券	1,200円
小、中学生1回券	300円
おとな1回券(高校生以上)	600円(当日800円)
おとな2枚綴り券	1,000円(当日1,200円)

※詳しくは、由布市湯布院公民館(84-2604)までお問い合わせ下さい。

## INFORMATION

人材育成ゆふいん財団 掲示板

(1) 一般寄附金としてご寄付をいただきました。

・日野詢城さま(乙丸)より(香典返しとして)

100,000円

(公益目的事業1に対して50,000円、公益目的事業2に対して50,000円)

温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1、2の推進、充実に有意義に活用させていただきます。

### 公益目的事業1

市民の0歳から100歳までの学びを奨励、援助する事業

### 公益目的事業2

市民の実践活動の促進を援助する事業

## 編集後記

先日、湯布院公民館の「おもしろ科学道場」に参加させていただきました。「浮沈子を使ったオモチャづくり」です。写真にあるのが私が作った完成品です。とても仕組みがおもしろく、すっかりマイブームです(説明書きを参照)。「説明書きを読んだが、何だかよく分からない!」という方も多いのではないのでしょうか? 「それでいいんですっ!」何か? どうして? どういうこと? それから科学が始まる、ということに気づかせてくれた今回の道場でした。先生、ありがとうございました。忙しい年度末、気持ちの浮き沈みをマイブームでカバーしたいと思います。(事務局・大澤直彦)

<マイブーム!・「浮沈子」を使ったオモチャ>

ペットボトルの中のお魚(しょうゆさし)が浮いているのは、お魚とそれについておもり(ナット)の重さよりも「お魚」の中に入っている空気によって生まれる「浮力」の力のほうが大きいからです。この状態でペットボトルをぎゅっと押したら、押された分の水はお魚の中に空気を押しつぶして入ってきます。そしてお魚は沈みます。これによって、空気によって生まれるお魚の浮力は小さくなり、また入り込んだ水の分お魚が重くなって沈んでしまいます。この「お魚」を「浮沈子(ふちんし)」といいます。



みらいしんぎんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します

MIRAI 大みらい信用金庫

URL <http://www.oitamirai.co.jp/>